

## キャッチボール 第27球

台湾電力の父 まつき かんいちろう  
松木幹一郎

旧東予市長でありながら、「台湾電力の父」と呼ばれる松木幹一郎の名前すら知らなかったことを恥ずかしく思っています。生まれも育ちも同じ楠河校区の河原津出身であるというのに…。

松木氏は、台湾が日本の統治下にあった時代に、政府から台湾電力の社長就任を要請され、東洋一の水力発電所の建設に取り組むなど、台湾発展に大きく貢献した人物なのです。1872（明治5）年に西条市河原津で生まれ、東京帝国大学を卒業後、通信省に入省。当時の通信大臣後藤新平にその才能を見い出され、東京市の初代電気局長などを歴任。関東大震災からの復興に際しては、帝都復興院の副総裁として、現在の東京の姿の礎となった区画整理事業に尽力されました。

また、鉄道院秘書課長時代には、郷里の後輩である十河信二を鉄道院総裁でもあった後藤新平に紹介しています。このことがきっかけとなり、のちに「新幹線の生みの親」といわれる十河氏が鉄道院に入ることになりました。

このように、松木氏はさまざまな分野で活躍されました。

1939（昭和14）年、台湾電力社長在任中に67歳で亡くなりましたが、翌年、水力発電所が建設された日月潭（にちげつたん：台湾最大の湖）の敷地内に、松木氏の功績を讃えて胸像が建てられました。戦時中の金属供出でこの胸像は失われたそうですが、2010（平成22）年に台湾電力OBの尽力で再建されました（右写真）。



日月潭は世界有数の観光地であることから、サイクリングコースを通して愛媛県と交流が深まっているところです。台湾の英雄である松木氏のふるさと西条市をより多くの台湾の人に知っていただく絶好の機会だと感じています。

西条市も合併から10年を迎えました。今日のふるさとの繁栄は、時代を力強く生き、日本のみならず世界の発展の礎を築いてこられた、多くの先人のご努力のおかげです。その功績をたどり、後世に受け継いでいくことが今を生きる私たちの務めであり、今後はしっかりと顕彰活動を行っていききたいと思います。

## ようこそ市長室・移動市長室へ

市長が、市民の皆さんの声を直接お聞きします。皆様のご参加をお待ちしています。

- 対 象 市内各地域で活動する自治会などのグループや団体  
※ 1 グループ当たり30分から1時間程度
- 日時・場所 ○ 4月13日(月) 9時～ 本庁 ○ 4月13日(月) 13時30分～ 小松総合支所  
○ 4月14日(火) 9時～ 丹原総合支所 ○ 4月14日(火) 13時30分～ 東予総合支所
- 参加方法 各開催日の1週間前までに、本庁広報広聴課、または参加を希望される各総合支所総務課へ申し込みが必要です。各場所3団体程度を予定。申し込み多数の場合は先着順。
- 申 込 先 ○市庁舎新館1階広報広聴課 広聴係 TEL0897-52-1493  
○東予総合支所総務課 総務調整係 TEL0898-64-2700  
○丹原総合支所総務課 総務調整係 TEL0898-68-7300  
○小松総合支所総務課 総務調整係 TEL0898-72-2111

